

台風第15号に係る静岡市への災害ごみ収集応援隊の派遣 (熱田環境事業所)

皆さん、こんにちは。

今回は、自然災害に対する熱田環境事業所の取組みについてレポートします。

近年、全国各地で自然災害が発生し、甚大な被害が発生しています。

9月23日に静岡市に上陸した台風第15号も、大雨による浸水被害等、大きな被害をもたらしました。

本市は、静岡市への災害ごみ収集応援隊の派遣を決め、私たち熱田環境事業所の作業員さん3名も10月5日から12日までの間、被災地にて作業を行いました。

被災地にて災害ごみの収集を行った作業員さんへのインタビューを通して、災害に対する熱田環境事業所の熱い思いを知って頂けると幸いです。

それでは、被災地にて災害ごみの収集を行った作業員さんに**インタビュー**！！



なぜ、被災地への災害ごみ収集応援隊の派遣に手を挙げたのですか？

- ・ 近年の自然災害は、頻発・激甚化の傾向にあります。

災害発生後、被災地が一刻も早く日常生活を取り戻すためには、周辺自治体の協力が重要であり、市の代表として活躍したいと思い派遣に手を挙げました。



被災地では、どのような作業をしましたか？

- ・ 応援作業を行った場所は、浸水被害があった静岡市清水区です。
水に浸かった畳や布団、家具などの災害ごみが、生活道路の脇や公園等の置場に出されており、それらの収集・搬出作業を行いました。
- ・ 災害ごみの置き場所は Google マップの機能を使って管理してくれていたため、私たちのような土地勘の無い応援作業員は、Google マップのナビ機能を使って効率よく収集作業を行うことができました。
- ・ 本市以外にも、ボランティア、地域住民の方が、雨の中、復興に向けて協力する姿をみて、どんな状況でも必ず克服していけると感じました。



今回学んだことを踏まえて、地域の皆様へメッセージをお願いします！！

- ・ 災害が発生した場合、一刻も早い日常生活の回復というゴールを目指し、周辺自治体からの応援等、様々な方が協力して作業にあたります。そのため、スムーズな連携を支援する基盤の立ち上げと、リアルタイムでの情報共有がとても大切であると改めて感じました。
- ・ 熱田環境事業所は、災害に備えて毎年実施する防災訓練に加え、このように現場における実践的な経験も積み重ねることで、地域の安心・安全で快適な生活環境を守ることに貢献します。